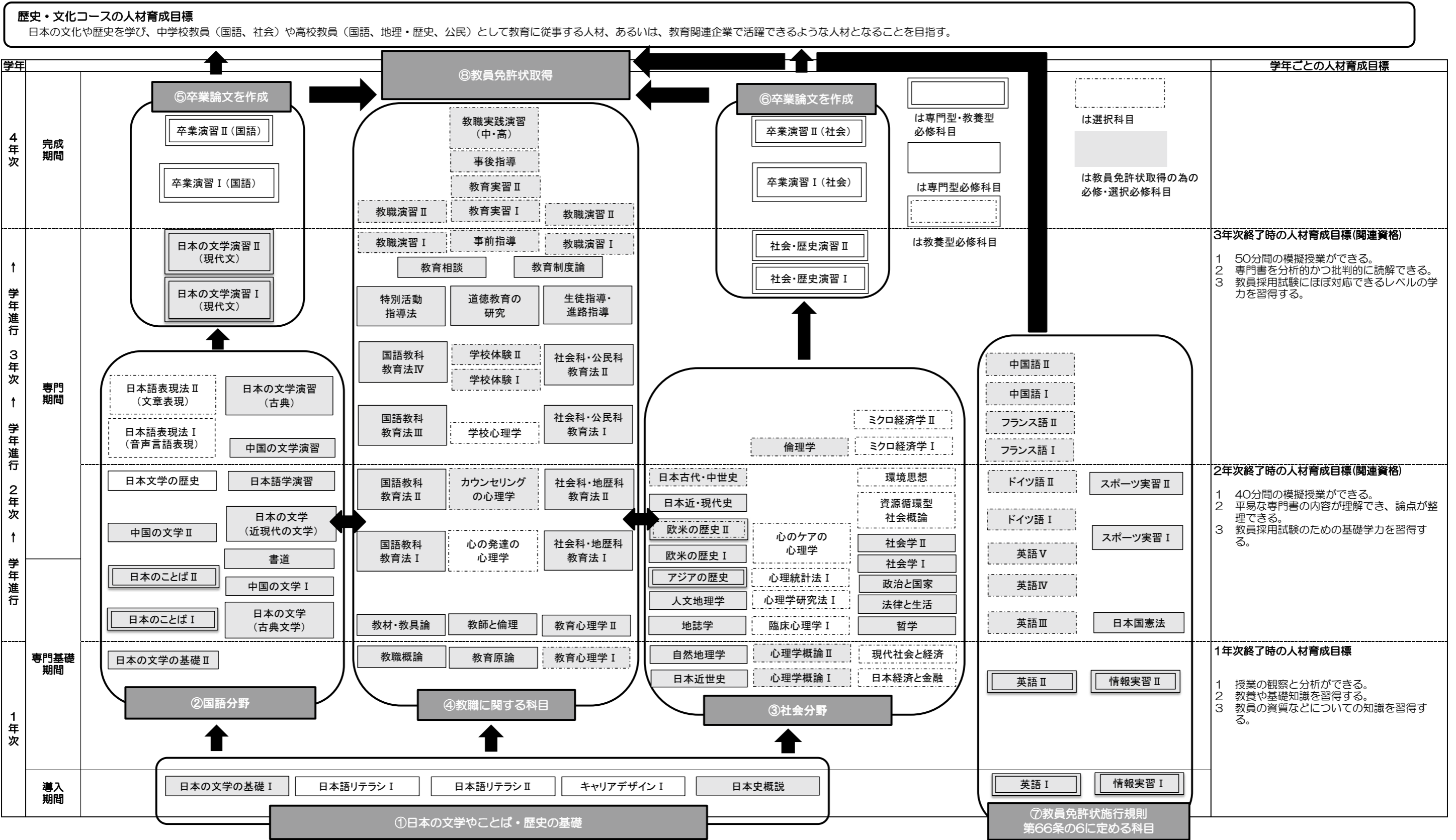


人間環境学部 人間環境学科 歴史・文化コース 各段階における到達目標



②⑤国語分野の人材育成目標

- 様々な現代文を読むことによって言語文化に対する理解を深める。
- 古典を読むことによって、日本の伝統と文化に対する理解を深める。

③⑥社会分野の人材育成目標

- 歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、歴史的思考力を培う。
- 地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、地理的認識を養う。

④教職に関する科目の人材育成目標

教員として求められる以下の4つの事項を習得する。

- 使命感や責任感、教育的愛情等
- 社会性や対人関係能力
- 生徒理解や学級経営等
- 教科内容等の指導力

⑦66条の6に定める科目の人材育成目標

教員となる者に必要な一般教育科目として、我が国の社会の基盤となる「日本国憲法」、グローバル社会で必要となる「外国語」、情報社会で必要となる「情報機器の操作」、生涯体育に関連する「スポーツ実習」を学び、生徒指導に役立てられるようにする。

課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

<看護学科> (認定課程: 養教一種免)

(1) 各段階における到達目標

履修年次		カリキュラムマップ			到達目標
年次	時期	教職に関する科目	養護に関する科目	教員免許状施行規則第66条の6に定める科目	
1年次	前期	教育心理学 教育原理 教職論	解剖生理学ⅠA 解剖生理学ⅡA	英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ基礎・情報処理法 フィットネス・スポーツ 日本国憲法	教職への意欲の向上 <ul style="list-style-type: none"> 教職への認識を深め、専門職業人として向上できる自己を確認できる。 憲法や学校教育法等の関係法規を理解し、教員の役割と責任が説明できる。 教職への社会的要請を理解し、自己実現との関係性を説明できる。 生物体としての人間の構造と働きに関心を持ち、体育実技で具体的に説明できる。 修得した情報処理の技術でプレゼンができる。 大府市や隣接の豊田市等を中心とした外国人の子どもと保護者に学校保健の仕組みを英語力等で説明可能なグローバルなコミュニケーションができる。
	後期	教育社会学	生活援助方法論 微生物学 公衆衛生学 生化学	体育実技	
2年次	前期	教育方法論 教育課程論	小児看護学概論 栄養学 病理学 母性看護学概論 精神保健看護学概論		教育実践を説明 <ul style="list-style-type: none"> 保健教育が児童生徒等の健康の保持増進の知識や技術であると説明ができる。 子どもの生理学的・栄養学知識等により、子どもの発達段階に合わせた適切なフィジカルアセスメントと対応ができる。 看護の様々な領域の見識とケアリング内容を教育活動に応用できる。
	後期	道徳教育・特別活動論 生徒指導論 ボランティア実習	精神看護援助論Ⅰ 急性期看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅰ 学校保健 疫学 薬理学		
3年次	前期	教育相談	保健医療福祉行政論 養護概説 健康相談活動論 小児看護援助論Ⅱ 急性期看護援助論Ⅱ 小児看護学実習	保健看護情報学	教育実践力の基礎を豊かにできる <ul style="list-style-type: none"> 子どもの日常的な教育課題を学習指導要領に照らして指導内容として具体的に説明ができる。 学校には様々な児童生徒等がいることを知り、教職の意義が再確認できる。 養護実践に必要な医学的専門的な分野に興味関心を持ち、自ら知識を一段と深めることができる。 ボランティア実習により学校を法的・機能的に説明ができ、大府市の地域性と県・国の教育課題から自己の学習課題を具体的に説明ができる。 教職への適性を再び振り返り、指導教員とともに課題の整理と克服法が説明できる。 教育現場の具体的な相談の在り方と展開や多職種との連携を説明ができる。 学校保健の概要並びに今日的学校保健の課題について説明ができ、学校内の分掌として学校保健を説明できる。 養護教諭の職務の概略を説明できる。 学校保健安全法並びに学校保健安全法施行規則について理解する。
	後期		急性期看護学実習		
4年次	前期	養護実習Ⅰ 養護実習Ⅱ			教育実践力の充実が <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づき、学年ごとの道徳性について児童生徒等に生起する事象に従い説明ができる。 看護学実習を通じて修得した教育実践に必要な対象理解・ケア技術などを具体的に説明ができる。 教職への適性について改めて評価ができる。 養護実習の事前学習を通じて、体験の重要性を説明できる。 養護実習を通して、学校の存在と機能について具体的に説明ができる。 学校教育計画に基づく教育実践を具体的・論理的に説明・記述ができる。 教員採用試験の経験を通じて、教職像・養護教諭像を具体的に説明できる。
	後期	教職実践演習			

教職への意欲の向上

教育実践を説明

教育実践力の基礎を豊かにできる

教育実践力の充実が

教職充実期の準備